

審判規定

時間(各階級決勝戦は再延長がマストシステムとする)

幼年

本戦1分 → 延長1分 ※マストシステム

小・中学生

本戦1分半 → 延長1分 ※マストシステム

高校生

本戦2分 → 延長1分半 ※マストシステム

一般男子・一般、高校女子・壮年シニア

本戦2分 → 延長1分半 ※マストシステム

審判は3審制で行う。

技あり2で合わせ一本勝ち。減点2で失格。技ありと減点は基本的に相殺するが、あくまでも判定材料であり、同等ではない。

- **有効技** 手技による中段突き、足技による金的以外の蹴り。一般男子に限り、上段ひざ蹴り。
 - **反則技** 上段への手技、金的への攻撃、背後への攻撃、倒れた相手への攻撃、つかみ、ひっかけ、上段ひざ蹴り。関節技、寝技、投げ、蹴り足をつかんでの攻撃。頭をつけての攻撃。手、ひじによる押し。
 - **一本勝ち** 技がクリーンヒットし、相手が3秒以上ダウン、または戦闘不能になった場合。
 - **技あり** 技がクリーンヒットし、相手が明らかに技でダメージを受けている場合。
 - **注意** 反則技を主審が口頭注意しても繰り返す場合、主審の判断で注意1とする。
上段突きや金的攻撃等で相手にダメージがある場合は口頭注意なしで注意1。
 - **減点** 注意2で減点1となる。
 - **失格**
 - ・減点2で失格。故意の悪質な反則技と審判が判断した場合。嘔吐した場合。
 - ・泣き出して戦意喪失した場合。試合時刻にコートに居なかった選手は失格。
 - ・各階級、体重オーバーの場合、受付の段階で失格。
- ※ 主審と副審は基本的に同等であるが、決定権は主審にあり、主審単独の判定もある。
- ※ 試合中の負傷や事故等について、主催者は一切の責任を負わない。
- ※ 選手は、爪をきり、手足に何も着用しないものとする。負傷等により必要な場合は、事前に申告をし許可を得た場合のみ、テープ等の使用を許可する。
- ※ 赤白の分け方はゼッケンの数字が若い方を赤とする。
- ※ チェストガードの使用については、中学生以上の女子は義務とする。
- ※ フィンガーグローブは使用禁止とする。ファールカップは道着の中に着用する。
- ※ ヘッドガードは各個人で持参する。使用するヘッドガードは、イサミ製・マーシャルワールド製・ボディーメーカー製のもので、カラーは”白色”とする。

● 防具着用規定

幼年、小中学生 拳サポ、レガース、ファールカップ、ヘッドガード

中学女子 拳サポ、レガース、ヘッドガード、チェストガード

高校男子 拳サポ、レガース、ファールカップ

一般、高校女子 拳サポ、レガース、チェストガード

一般男子 ファールカップ

壮年シニア 拳サポ、レガース、ファールカップ

手旗による副審の動作

